



市北神明町地内に建設中の松下村塾が十月二十八日完成しました。これは、当市出身の故竹村吉右衛門氏が吉田松陰に強い影響を受け、「故郷に恩返しの意味もあって」と建設されたものです。当日は松陰の生地である萩市から助役も出席、完成を祝いました。

松下村塾が完成



落葉を集めて焼イモ大会 ~ 上川沿小 ~

上川沿小学校では6日、ゆとりの時間を利用して栽培したサツマイモで焼イモ大会を開きました。児童らは最近では珍しくなった落葉のたき火でイモを焼き、おいしそうに食べていました。



のこせローカル線・守ろう生活の足 さだまさしローカル線コンサート(みちのく大館)



15,000人の「さだまさしコンサート」

国鉄の赤字ローカル線廃止反対を訴える「さだまさし・ローカル線コンサート」が3日長根山運動公園陸上競技場で開かれ、あいにくの雨空にもかかわらず県外客を含め約15,000人が野外コンサートを楽しみました。



鉱山を守る

日本一の黒鉱の産地である当市で、五日金属鉱業危機突破秋田県大会が開かれました。同大会は、非鉄金属鉱業の低迷打破と、鉱山所在市町村などの財政的危機を打開し、「金属鉱業等基本法」を早急に制定させることなどを目的としたもので、およそ五百人が参加しました。

大館の歴史散歩

餌釣館

市内餌釣字山王宮の日吉神社境内一帯が館跡である。その名称には大字名の「餌釣」を冠したが、当館跡を「山王館」と称するは後述することから「池内館」と称することが妥当かも知れない。今後の三地域の考古学的研究の進展に負うところが大きい。館は、大館地方の代表的な単郭式城館跡の一つである。郭部は南北約百二十メートル、東西約八十五メートルの矩形で、その北西部に長さ約四十五メートル、幅約二十五メートルの突出部がつく。郭部の南側と北側には小侵蝕谷があつて空堀に利用し、郭部の東側には小侵蝕谷に連絡する幅五メートルの人工の空堀を配して台地と切り離している。保存状態はきわめて良好である。

この館に関する直接の記録は不明だが、『浅利與市待分限』に「生内権助」の名がみえ、当館の西方約八百メートルに池内集落があつて生(池)内権助と縁

図書館 コーナー



〈一般書〉

◇地下鉄の文化史(中川浩一著)◇天女の木裔(鳥井加南子著)◇大君の通貨(佐藤雅美著)◇北の黙示録 上、下(南原幹雄著)◇自由学園物語(羽仁進著)◇たべもの事始(大塚滋著)◇映画館(こや)がはねて(山田洋次著)◇ふだん着の作家たち(森田正浩著)◇写真集 子どもたちの昭和史(大月書店刊)◇母の万年筆(太田治子著)◇自由と禁己(江藤淳著)◇幻のオホーツク共和国(畑山博著)◇天璋院篤姫上・下(宮尾登美子著)◇人間喜劇の老嬢たち(寺田透著)◇一人称で語る権利(長田弘著)ほか

〈児童書〉

◇動物のふしぎな世界全15巻(国土社刊)◇学習漫画世界の伝記 福沢諭吉(集英社刊)◇子どもの実技シリーズ全7巻(フレール館刊)◇タツタカ先生と子どもたち(ますむらきみこ著)ほか



◎交通・バスたつみ団地下車徒歩15分 ◎目標・日吉神社